

政策分析シート（令和5年度）

政策名	良好で快適な生活環境の形成	政策No	08	部名	防災都市づくり部		
				部長名	松崎	内線	2800
関連部名	環境清掃部						
行政評価事業体系	分野	IV 環境先進都市					

目的 住みたい、いつまでも住み続けたい街の実現を目指して、花と緑あふれ、うるおいと安らぎの場を区民に提供し、安全で快適な生活環境の充実に取り組むとともに、細街路の拡幅や道路の適正な維持管理、まちの環境美化等を進め、良好な住環境の維持・向上を図る。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①	生活環境の充実	—	3.26	3.24	お住まいの地域が、バリアフリーの状況や交通の便、まちなみの良さ、快適さ等の点から総合して暮らしやすい生活環境であると感じますか？
②	まちなみの良さ	—	3.02	3.03	お住まいの地域のまちなみ（景観・緑など）は良いと感じますか？
③	周辺環境の快適さ	—	3.10	3.13	お住まいの地域で、生活する上での不快さを感じますか？
④					
⑤					
⑥					
⑦					

標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	公園・児童遊園面積 (ha)	43.2	44.8	45.3	45.3	48.0	
②	住みよいと感じる人の割合 (%)	92	92	92	92	—	区政世論調査
③	細街路後退用地整備率 (%)	46	47	48	49	52	整備延長／整備対象道路延長両側（自主整備含む）
④							
⑤							
⑥							
⑦							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	給与関係費	407,113	390,942	▲16,171	地方税等	0	0	0
	物件費	847,285	963,370	▲116,085	国庫支出金	11,407	15,572	4,165
	維持補修費	377,118	359,938	▲17,180	都支支出金	43,992	45,385	1,393
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	4,774	0	▲4,774
	補助費等	98,163	75,477	▲22,686	使用料及び手数料	942,230	1,102,744	160,514
	減価償却費	376,863	407,167	30,304	その他行政収入	110,901	124,486	13,585
	不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,113,304	1,288,187	174,883
	賞与・退職給与引当金繰入額	131,863	32,214	▲99,649	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲1,708,097	▲1,411,899	296,198
	その他行政費用	582,996	470,978	▲112,018	金融収支差額(d)	▲1,226	▲875	351
	行政費用合計(b)	2,821,401	2,700,086	▲121,315	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲1,709,323	▲1,412,774	296,549
	特別費用(g)	149,663	38,565	▲111,098	特別収入(f)	64,299	10,960	▲53,339
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	▲85,364	▲27,605	57,759	当期収支差額(e)+(h)	▲1,794,687	▲1,440,379	354,308

貸借対照表	勘定科目			勘定科目	勘定科目			
	3年度	4年度	差額		3年度	4年度	差額	
	収入未済	14,793	13,175	▲1,618	流動負債	37,028	25,498	▲11,530
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	16,129	6,395	▲9,734
	有形固定資産	227,317,359	230,882,560	3,565,201	賞与引当金	20,899	19,103	▲1,796
	土地	208,611,443	212,246,085	3,634,642	その他の流動負債	0	0	0
	建物	7,502,623	7,337,851	▲164,772	固定負債	337,477	315,361	▲22,116
	建物減価償却累計額	▲3,767,822	▲3,876,171	▲108,349	特別区債	76,498	70,103	▲6,395
	工作物等	21,021,444	21,466,273	444,829	退職給与引当金	260,979	245,258	▲15,721
	工作物等減価償却累計額	▲6,050,328	▲6,291,478	▲241,150	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	374,505	340,859	▲33,646
	建設仮勘定	108,831	136,530	27,699	正味財産	227,080,243	230,704,001	3,623,758
	その他の固定資産	13,765	12,595	▲1,170	正味財産の部合計	227,080,243	230,704,001	3,623,758
	資産の部合計	227,454,748	231,044,860	3,590,112	負債及び正味財産の部合計	227,454,748	231,044,860	3,590,112

財務諸表に関する特記事項等

- 行政費用の約1/3を公園や児童遊園の管理に係る経費や区営住宅の運営に係る経費にあたる物件費が占め、1割強を道路の改修事業等に係る維持補修費が占めている。
- 有形固定資産が大幅に増加しているが、これは都市計画公園事業用地の取得に伴うものである。

## 政策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』に基づき、公園等面積55.2haを目指し、平成18年度には41.6haであった公園等の面積を着実に増加させ、令和4年度には45.3haとなった。</p> <p>○道路ストック総点検の実施により路面下の空洞箇所を発見し補修を行った。また、都電荒川線の沿線をバラで包み込み、美しい景観の創出や区民の心に潤いや安らぎを提供するため、バラの継続的な維持管理に取り組んでいる。</p> <p>○居住環境については過去、住商工が共存していたが、再開発事業の進展や民間マンションの建設等によるまちづくりが進んできている。</p>
課題	<p>○『荒川区花と緑の基本計画』で目標に掲げている公園等面積を確保するためには、引き続き、公園等を整備する必要がある。</p> <p>○区民の最も身近な都市施設である道路をいつまでも安全かつ安心して利用できるよう、適正な維持管理及び拡幅・改修等の整備を行う必要がある。また、都電沿線バラの植栽数を増やすとともに、バラを区民とともに育てていくため、その担い手である「荒川バラの会」の活動をより一層充実させる必要がある。</p> <p>○定住人口の維持・促進を図るため、高齢者・障がい者・子育て世代などの住宅確保要配慮者を含め、誰もが安全安心で快適に暮らせる居住環境を整備する必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○都市計画公園の整備を着実に実施するとともに、防災や防犯の観点を持って、地域バランスを考慮しつつ、今後更なる公園等の整備に努め、花と緑を通して幸せを実感できる街づくりを推進していく。</p> <p>○通常の維持管理や道路ストック総点検の結果に基づく計画的な補修を行うとともに、ボランティア活動の活性化を図るなど、住みやすく快適な街を形成していく。</p> <p>○下町の風情を残した街並みを生かしながら、新たな開発と調和した居住環境の整備及び魅力ある景観づくりを推進していく。</p>

## 政策を構成する施策の分類

施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
緑とうるおい豊かな生活環境づくり	重点的に推進	重点的に推進	心豊かな区民生活に寄与するために、公園等の整備を促進するとともに、官民協働により花と緑のまちづくりを推進する必要がある。また、地域の防災性向上のために、目標とする公園等の面積確保に向けて積極的に取り組む必要がある。
快適な居住環境の形成	推進	推進	良質で良好な居住環境を確保し、快適に暮らせる街づくりの取組みを推進する。
快適な生活道路の整備	推進	推進	環境に配慮した道路の整備、バリアフリーに対応した道路施設の整備を進めるとともに、適切な維持管理を行っていく。
まちの美化の推進	推進	推進	区民が安心して暮らせる環境を守るため、各部や関係機関と連携を図り、区民の健康と安全の確保に努めることは、基幹自治体である区の責務であり、本施策を推進する。